

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 小山株式会社 大阪工場	階数	地上3F
建設地	松原市丹南一丁目410番1、410番8	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年4月8日
敷地面積	6,060 m ²	作成者	(株) 権総合プランニング 田岡
建築面積	2,688 m ²	確認日	2015年4月10日
延床面積	6,126 m ²	確認者	(株) 権総合プランニング 田岡



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	97%
③ 上記+②以外の	97%
④ 上記+	97%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	準工業地域に建つクリーニング工場として、建築物の環境品質を高めるのと同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 ① 主要配管3種のうち2種以上にB以上を使用。Eは不使用。 ② 節水型便器、系統の分散化、井戸水の利用。 ③ 階高=4.8m。壁長さ比率=0.11	Q3 室外環境(敷地内) ① 外構緑化指数=23.17% ② 空地率=55.64% ③ 緑被率、水被率、中高木の水平投影面積率=12.89%
LR1 エネルギー ① BEI=0.94	LR2 資源・マテリアル ① 自動水栓及び節水型便器を使用している。 ② 井戸水を利用している。 ③ LGS+ボードなど解体時に分別可能な工法を採用している。 ④ 不活性ガスを使用している。	LR3 敷地外環境 ① ライフサイクルCO ₂ 排出率=97% ② 卓越風風向に対する建築物の見附面積比=46.3% ③ 隣棟間隔指標Rw=2.23 ④ 光害ガイドラインの一部を満たし、屋外広告物は過半を満たす。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0076

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】		建物名称	(仮称)小山株式会社 大阪工場					
		建設地	松原市丹南一丁目410番1、410番8					
		用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★★			B-			
	CO2削減	★★★★★			3			
	省エネ対策	★★★★★			3			
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2			
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.1	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3			
				住戸・宿泊				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						3.7
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.5			
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								